

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	4462
公告方法	電子公告により行う。 なお、電子公告は、当社のホームページに 掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.unicon.co.jp/

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご案内

少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末配当または中間配当の「基準日」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けください。
また、ご所有の株式のうち、特別口座に登録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4462

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。 **ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます**



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



当社ホームページにおきましても、最新のトピックスをはじめとして、IR情報や会社情報、製品情報など様々な情報をご案内しております。

インターネットホームページアドレス

<http://www.unicon.co.jp/>

第79期 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日



石原ケミカルの技術や製品は、身近な電子機器・自動車用品など、さまざまなシーンで活躍しています。



自動車用品分野

快適なカーライフをサポートする自動車ケミカル品の製造・販売



カーディーラー
エアコン洗浄剤

ガソリンスタンド
洗車機用洗浄剤

板金・補修工場
補修用ケミカル

整備工場
整備用ケミカル

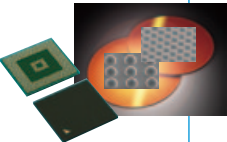
工業薬品分野

鉄鋼、化学、環境・公共事業分野等に薬剤の提案、付加価値の高い商品開発など、コーディネーター的役割を果たす提案開発型商社

電子関連分野

金属表面処理剤

スマートフォンやタブレット端末などに使用される電子部品の表面処理に用いられるめっき液を製造・販売



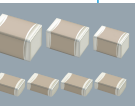
機器等

化成処理液自動管理装置及び試薬を製造・販売



電子材料

セラミックコンデンサの電極材の仕入・販売



セラミックス、エンブラ樹脂等の加工部品の製造・販売





代表取締役社長 時澤 元一

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第79期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の業績ならびに事業の概況についてご報告させていただきます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策等を背景に緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国経済の減速や米国の新政権の政策動向の影響などにより、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループといたしましては、研究開発をさらに進めるとともに海外市場の開拓に積極的にとりくみ、高付加価値製品の市場展開に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高14,570百万円、営業利益747百万円、経常利益820百万円となりましたが、特別利益として投資有価証券の売却益261百万円があったものの、当社神戸工場が保有する固定資産の一部について収益性の低下がみられたことから、特別損失として固定資産の減損損失303百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は570百万円となりました。

Q 当連結会計年度の業績について、総括をお願いいたします。

A 金属表面処理剤におけるウエハーバンプめっき液及び工業薬品が低調であったものの、自動車用化学製品等及び電子材料が好調に推移したことにより、微減収・増益となりました。

海外主要ユーザでのハイエンド・スマートフォン向け電子部品の販売不振や銅ピラー化などの影響を受け、先端電子部品用ウエハーバンプめっき液は低調でしたが、一般電子部品向けめっき液は堅調に

推移いたしました。一方、自動車用化学製品はエアコン洗浄剤を中心に堅調であったこと及び電子材料の機能材料加工品も好調であったことにより、売上は減収となったものの利益面では増益となりました。

Q 次期の見通しと計画されている取り組みをお聞かせください。

A 高利益率製品の販売により収益力を高め、金属ナノ粒子等新規電子材料の市場導入、市場拡大をはかってゆきたい。

＜金属表面処理剤及び機器等＞が対応する電子部品業界においては、スマートフォンやタブレット端末向け電子部品の需要は依然として堅調に推移するものの、新興国向けローエンド品との価格競争の影響を受け、コスト競争が一層激化し価格協力要請やコストダウンを目的とした使用液量の減少などが予想されます。

当社といたしましては、銅ピラー及びファンアウト技術に対応した製品を開発し、台湾、韓国を中心に高付加価値薬剤の採用を促進してまいります。

＜自動車用化学製品等＞においては、年々増加している自動車用エアコンフィルター交換需要に対応して、この交換作業に合わせエアコン洗浄を同時に施工するビジネスのカーディーラーでの定着を引き続き推進してまいります。

これらの結果、次期の業績につきましては、売上高14,880百万円、営業利益1,050百万円、経常利益1,110百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は810百万円を見込んでおります。

Q 当連結会計年度の配当金ならびに株主還元の方針についてお聞かせください。

A 安定的で継続的な配当を行うことを基本とし、業績に応じた弾力的な還元策をはかります。

当社は、業績に裏付けられた安定的かつ継続的な配当の実施を基本としながら、業績に応じた増配の検討など、弾力的な株主還元策を行っていく方針です。また、配当に加え、自己株式の取得も機動的に組み合わせて行うことで、実質的な株主還元を一層強化します。一方、健全な経営基盤の維持を目的に、内

部留保の充実をはかるとともに、内部留保資金の活用については、研究開発など将来の企業価値向上のための投資に優先して充当してまいります。

なお、当期末の配当は、1株当たり16円とさせていただきます。年間配当金は、中間配当16円と合わせて、32円となります。

中長期的な会社の経営戦略（会社が目指すビジョン）

「成長路線の創造」

当社は、自己開発、商品開発、市場開発の「三つの開発」を企業理念とし、ニッチ市場といわれる事業分野で高い市場占有率を維持し、基幹となる3つの分野で4つの事業を展開することを基本とし、世界に通用する製品、技術、サービスを創造・駆使し、グローバル化に対応できる企業を目指し、更なる成長を遂げ、次のステージへの前進を目指す。

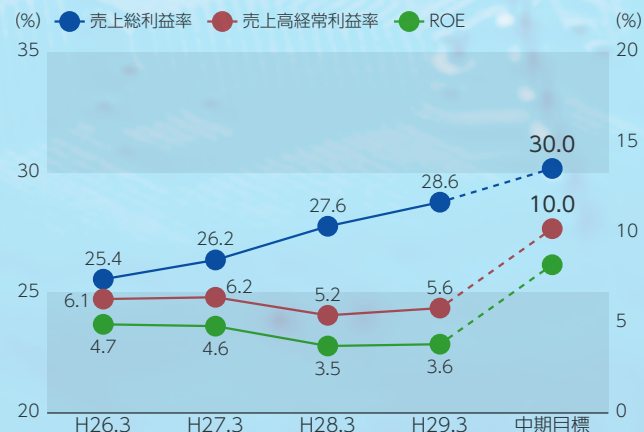
中期経営戦略（ビジョンを実現するための基本戦略）

重点テーマ

1. 新規電子材料の市場拡大
2. 金属ナノ粒子量産技術の開発
3. 導電性銅ナノインクの開発と先端電子材料市場への参入
4. 回路形成銅メッキ液の市場拡大
5. 石原化美(上海)商貿有限公司の早期黒字化
6. 神戸工場の有効活用

目標とする経営指標

1. 売上総利益率30%以上を目指します。
2. 売上高経常利益率10%以上を目指します。
3. 利益額の伸長により、ROE(自己資本利益率)の向上をはかります。



トピックス

OPICS

中間期株主優待を新たに実施いたします。

当社は株主の皆様への日頃のご支援の感謝のしるしとして、また、当社株式を中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施しております。このたび投資魅力をさらに高めるため、期末に加え中間期においても株主優待を行うことといたします。

▶ 中間期の株主優待制度の内容

- (1) 対象となる株主様
毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。
- (2) 優待内容
所有株式数に応じて、毎年12月初旬に株主通信とともに発送を予定しております。

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	QUOカード(クオ・カード)1,000円分
500株以上1,000株未満	QUOカード(クオ・カード)2,000円分
1,000株以上	QUOカード(クオ・カード)3,000円分

平成29年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様への贈呈分より実施いたします。



展示会出展のご報告



上海の会場にブースを開設



東京ビッグサイトにブースを開設



東京ビッグサイトにブースを開設

セグメント別事業の概況

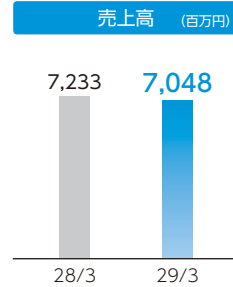
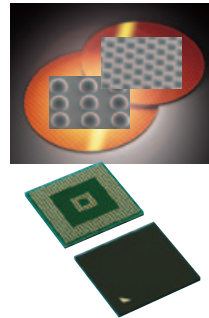
金属表面処理剤及び機器等

当セグメントが対応する電子部品業界においては、国内市場では、ここ数年に半導体等の電子部品の生産減が引き続いておりましたが、期後半以降、車載用を中心に底打ち感が出てまいりました。また、海外市場においては、新興国向けのミドルからローエンドのスマートフォンに押されハイエンド品の販売が不振であった影響を受けました。

このような状況のもと、金属表面処理剤は、韓国、台湾の主要ユーザでのハイエンド品向け電子部品の販売不振や銅ピラー化などの影響を受け、先端電子部品用ウエハーバンプめっき液を中心に低調に推移いたしました。

一方、機器等の管理装置は、プリント基板及びタッチパネル向け市場において大口需要があり好調に推移いたしました。

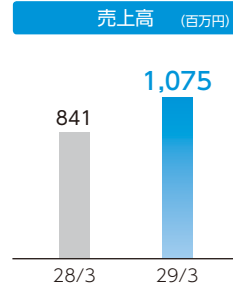
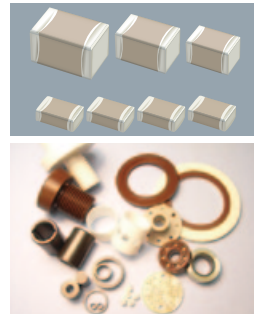
これらの結果、当セグメントの売上高は、7,048百万円となりました。



電子材料

機能材料加工品は、有機EL製造装置向けのエンブレ製品やフラッシュメモリー用半導体製造装置向けのセラミック製品が好調に推移しました。

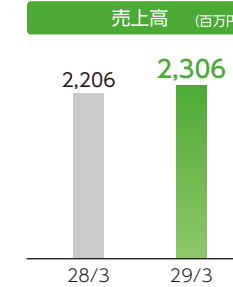
これらの結果、当セグメントの売上高は、1,075百万円となりました。



自動車用化学製品等

当セグメントが対応するカーアフターマーケットにおいては、新車販売台数は3年ぶりに前年比プラスとなったものの、車体構造の変化による部品やケミカル品の交換インターバルの長期化などの影響により、市場は縮小の傾向にあります。一方、カーディーラーは、新車販売以外のサービス売上に力を入れ、メンテナンスパック等の契約により車検入庫を促進し高付加価値ケミカル品の販売にも力を入れています。

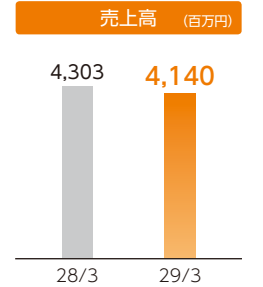
このような状況のもと、主力製品であるエアコン洗浄剤は、新たに取り組むカーディーラーを増やすことができ引き続き好調に推移いたしました。また、コンパウンド及び整備用ケミカルも拡販に努めた結果、好調に推移いたしました。これらの結果、当セグメントの売上高は、2,306百万円となりました。



工業薬品

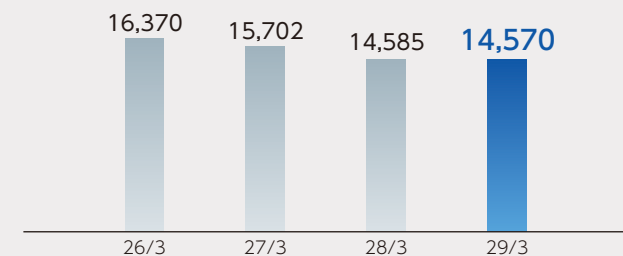
当セグメントが対応する鉄鋼業界は、中国の粗鋼生産は依然として高水準にあるものの鋼材輸出は減少傾向にあり、日本からのアジア諸国向けの輸出は好転傾向にあります。このような状況のもと、当セグメント全体としては、苛性ソーダや金属等の市況価格の下落や環境分野におけるユーザの複数購買によるシェアダウンの影響を受け、低調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、4,140百万円となりました。



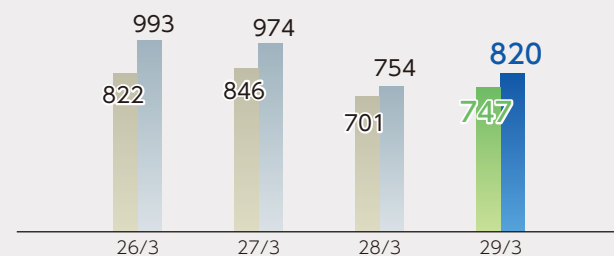
連結財務ハイライト CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

売上高 (百万円)

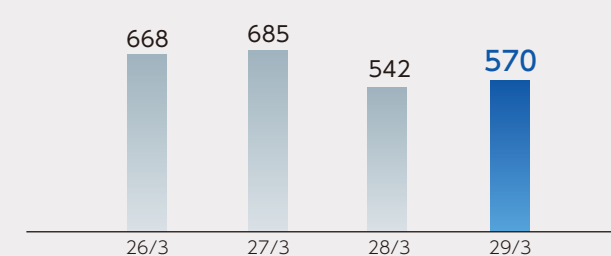


営業利益／経常利益

■ 営業利益 (百万円) ■ 経常利益 (百万円)

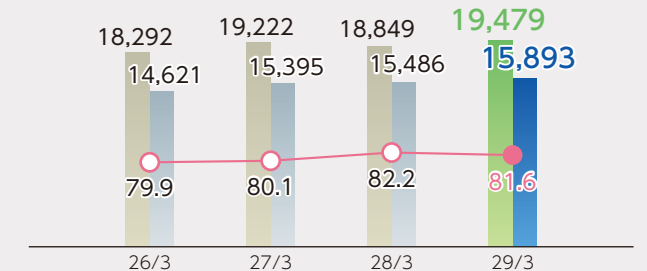


親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



総資産／純資産／自己資本比率

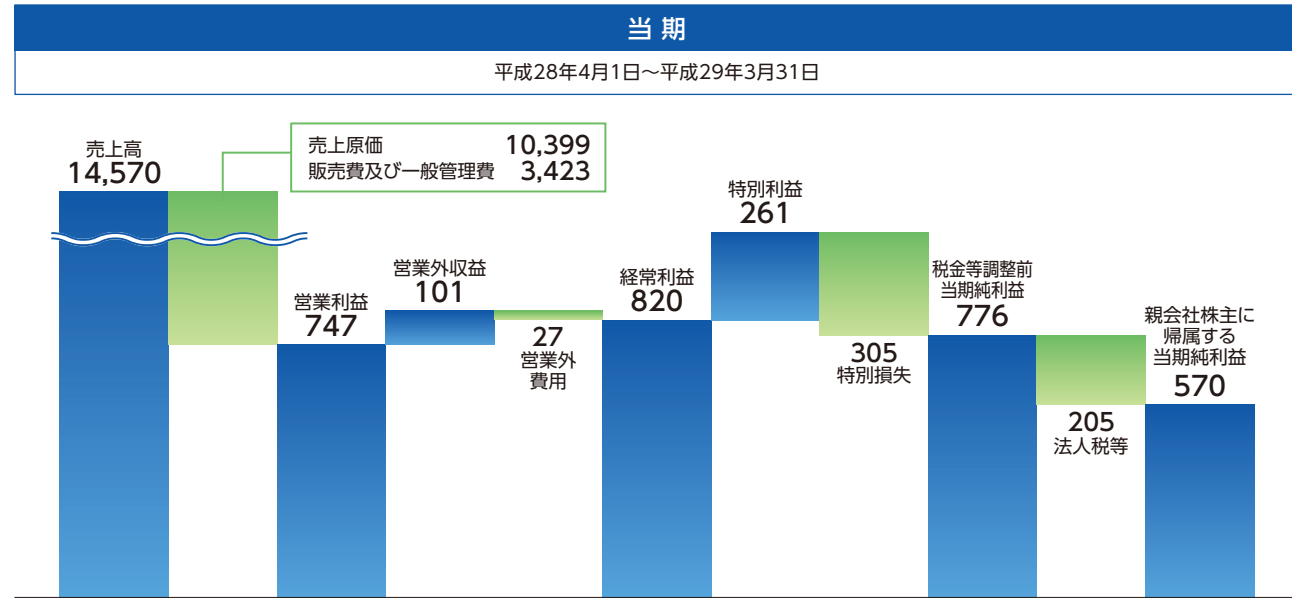
■ 総資産 (百万円) ■ 純資産 (百万円) ● 自己資本比率 (%)



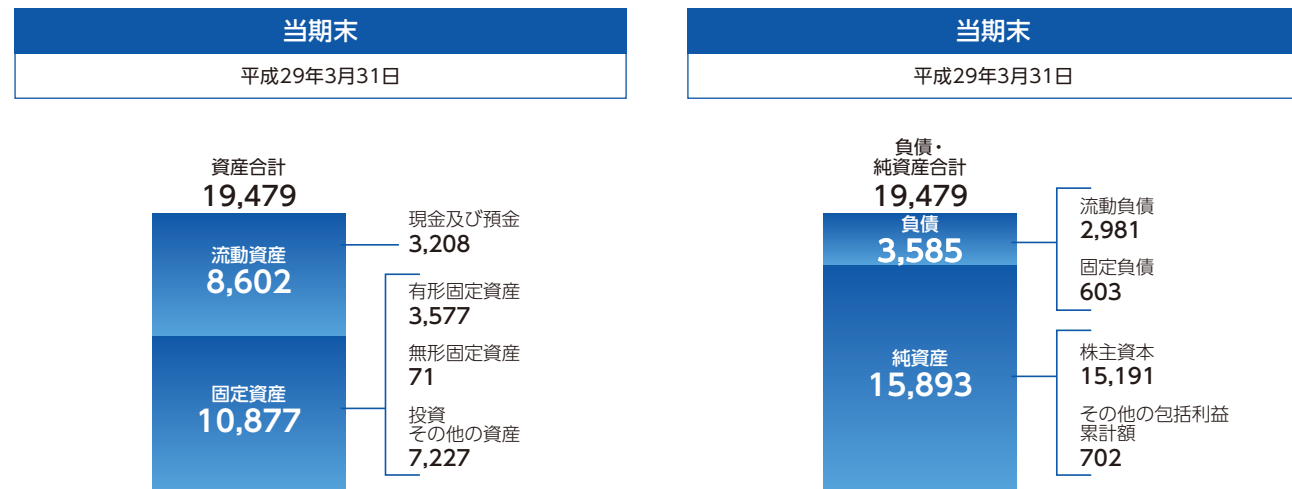
※平成29年3月期より連結決算を開始したため、平成28年3月期以前は非連結の数値を掲載しております。

連結財務諸表

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



※平成29年3月期より連結決算を開始したため、前期の数値は掲載しておりません。

会社情報

会社概要 (平成29年3月31日現在)

商号 石原ケミカル株式会社
 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.
 創業 明治33年4月15日
 設立 昭和14年3月3日
 資本金 14億4千7百28万円
 従業員数 208名

主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面処理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

事業所 (平成29年3月31日現在)

本社 神戸市兵庫区西柳原町5番26号
 東京支店 東京都台東区台東2丁目26番11号
 滋賀工場 滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1
 神戸工場 神戸市西区室谷1丁目6番2

役員 (平成29年6月28日現在)

代表取締役会長 竹森 莞爾
 代表取締役社長 時澤 元一
 専務取締役 酒井 保幸
 取締役 内田 衛剛
 取締役 越山 剛正
 取締役 山口 恭夫
 取締役 有原 邦平
 取締役 松本 君延
 常勤監査役 山本 一史
 常勤監査役 山下 隆史
 監査役 永野 卓美
 監査役 芝池 勉

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 15,650,000株
 発行済株式の総数 7,460,440株
 株主数 2,453名
 単元株式数 100株

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
石原ケミカル取引先持株会	610(千株)	8.30(%)
日本生命保険相互会社	379	5.15
株式会社三井住友銀行	346	4.71
株式会社みずほ銀行	223	3.03
第一生命保険株式会社	211	2.86
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.84
CGML PB CLIENT ACCOUNT / COLLATERAL 常任代理人 シティバンク銀行株式会社	185	2.52
石原ケミカル従業員持株会	179	2.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	175	2.38
株式会社池田泉州銀行	160	2.17

(注)持株比率は自己株式(106,363株)を除いて計算しております。

株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様のご厚情に対するささやかな感謝のしるしといたしまして、株主優待制度を実施しております。

● 決算期日時点の株主様
 決算期日(3月31日)時点の当社株主名簿に記載された100株以上保有の株主の皆様

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	QUOカード(クオ・カード)1,000円分
500株以上1,000株未満	グルメギフト(3,000円相当)
1,000株以上	グルメギフト(10,000円相当)

(6月末~7月初旬贈呈予定)

● 中間決算期日時点の株主様
 中間決算期日(9月30日)時点の当社株主名簿に記載された100株以上保有の株主の皆様

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	QUOカード(クオ・カード)1,000円分
500株以上1,000株未満	QUOカード(クオ・カード)2,000円分
1,000株以上	QUOカード(クオ・カード)3,000円分

(12月初旬贈呈予定)